

ミニプラネタリウム（夏）

夏に見える星座と夏の大三角を映すことができるミニプラネタリウムです。
自分で作ったあとは、スマートフォンのライトなどを使って、お部屋でも星座を眺めることができます！

作り方

①

型紙を
切る

- オレンジの線に沿って本体と台座を切ろう。
- 台座の真ん中を切り抜くこともお忘れなく。

②

穴を
あける

- ダンボールなどを下にひいて、4つの星座の星をていねいに空けていこう。
- 赤色の星は穴を大きくするといーよ。

③

折る

- やま折り（折り線が外側に出るように折る）、たに折り（折り線が内側になるように折る）を確認しながら、折り目をつけていこう。

④

のり付け

- のりしろの部分に両面テープ、もしくはのりをつけて、合わせよう。
- 合わせるのりしろは同じ番号か同じマークが付いているよ（①と①、☆と☆など）

自分の名前を書いた台座に取り付け
本体の向き（方角）と台座の向き（方角）を合わせて、
完成!!



夏の星空解説① さそり座

この時期には、南の方角の空の低い位置に輝いています。縦に3つ並んだ星からアルファベットの「S」のような形で星を結んでみましょう。

さそりの心臓の位置には赤く輝く「アンタレス」という星があります。「火星に対抗するもの」という意味の「アンチ・アレス」からその名前がつけられています。

さそり座



夏の星空解説② 天の川

夏のころ、街明かりから離れた暗い山の中や海の近くでは、南の地平線から「天の川」がぼんやりと薄い雲のように広がって、空の高い位置まで伸びているのが見えるかもしれません。天の川を双眼鏡や望遠鏡で覗くと、たくさんの細かい星の集まりであることがわかります。この星の集まりを「銀河」と呼び、「天の川」とは銀河の一部が見えているものです。

